(第三種郵便物認可 大正三年八月七日)　昭和十三年二月五日　THE IWAKIJIHO　(土曜日)　(第七千百三十一號)(一)

夕刊 磐城時報

四日

福島縣平市紺屋町十四 編輯兼發行 印刷人 岡田弘成
福島縣平市紺屋町十四 印刷所 加納活版所
福島縣平市紺屋町十四 發行所 磐城時報社
一部金弐錢 一ケ月金卅錢
廣告料一行十二字詰五十錢
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

第一小學校庭で 建國祭の式典
縣社子鍬倉神社に祈願 全市に愛國行進

來る二月十一日建國祭の實施要項については平市役所では四日午前十時から振興委員會を開き協議の結果左の如く決定した。

二月十一日午前十時平第一小學校で建國祭式典を擧行國旗掲揚、國歌齊唱の後青年團長の式辭、平市長の宣誓文朗讀、紀元節唱歌合唱天皇陛下萬歳を三唱し式を閉ぢ各種團体代表者が縣社子鍬倉神社參拜修祓祈願文を奏上式を閉ぢ、全市の愛國行進に移る筈である。

愛國行進は

第一班 樂隊、少年團、第一校、佑賢、女子青年團、平婦人會、愛國婦人會、國防婦人會、磐城高女校

第二班 青年學校、商業學校、第二校、藤田校、市役所、平消防組

第三班 磐城中學、磐城青年學校、第三校、平陽校、軍人分會、軍友會

第四班 第二青年學校、第四校、平窪青年團、第四國防婦人會、同軍人分會

で第一校に勢揃ひをした上縣社から紺屋町に出で本町通りを五丁目まで行進し、五丁目から各班毎に分れて十二時解散する。

紀元節を機として 國民精神總動員
平市の實施要項決る

時局重大に鑑み紀元節を機として全國的に國民精神總動員强調週間を實施し國体觀念の明徴、日本精神の昂揚を計る事となつたが、平市では二月十一日から十七日迄一週間左の要項により實施する事になつた。

★實施要項

1、我尊嚴なる國体、宏遠なる肇國の理想、日本文化の精神を國民に徹底せしめ以て日本精神を昂揚する事

2、我國現下社會各般に見らる弊害が外國思想及外國文化を無批判的に採り入れたる事に因るもの多きに鑑み日本精神の根本義に立脚して此際國民をして深く之を反省せしめ社會生活に於ける各般の弊害匡正に努め特に誤まれる個人主義、自由主義功利主義の打破に努むる事

★期間中實施事項

二月十一日 皇威宣揚祈願祭

十二日 非常時經濟の日の丸辨當、愛國貯金、節約、節酒、節煙

十三日 勤勞報國の日早起作業に努め能率增進を計る事

十四日 同上

十五日 克己日(享樂節制)に努め粗食實行をなす事

十六日 節約貯金日、貯蓄、節約、廢物の利用に努むる事

十七日 困苦缺乏の日虚禮廢止、時と物とを無駄にせぬ事

債券魔横山の被害 平地方で八萬圓
本田刑事課長來平

濱三郡を股にかけ債券十萬圓の詐欺を働いた債券魔平市仲間町債券仲介業横山久(二六)はその後の平署に護送留置の上嚴重取調を行つてゐるが、一般地方人の獵奇を唆らつてゐる同人が平方面において詐取した債券並に現金は八萬圓に達してをり、同市長橋町某古物商の約一萬圓、内郷村新町某未亡人の約五千圓、平市役所吏員某の七千五百圓、好間村日曹小田炭礦某の一萬圓等は被害の主なるものでその他愛妻の病氣に消費した醫療金を取戻さんと横山の口車に乗せられて約一千圓の債券を預けその儘元も子もなくした等の哀話さへあり、取調の進展につれて相當家庭悲劇が暴露される模樣である。尚ほ右取調べのため四日本田縣刑事課長が來平した。

完成近き 小名濱商港

二百六十萬圓の巨費を投じ五ヶ年の長日を以て工事中の小名濱商港は意々來る三月見事に落成する、既に岩壁船繋留場、荷揚場及び縣營、町營の埋立地等全く完成し、殘るは僅かに港内の浚渫のみとなつたので早くも縣營五萬坪、町營六千坪の利用希望者續出、平製氷が小名濱工場を移轉設置したのを初め漁業關係、各種事務所、各種加工工場等が該敷地に相次いで建設されんとしてをり、更に小名濱町は申請中の起債六萬圓がこの程認可されたので町營埋立地内六百坪の大魚市場を建設する事になり近く着工する筈で、この埋立地一帶には堂々たる一大文化街が現出せんとしてゐる。

けふあたりから 南寄の風となる
寒さ幾分緩む

長い間寒さに惱まされてゐた平地方は三日寒あけとは言ひ氣温は依然低く零下三度で、昨年より遙かに低いが、小名濱測候所では左の如く語つた。寒も明けたし氣壓の配置も冬型から崩れかゝつてゐるから、明日あたりから南風が吹き温度も幾分昇つて暖かくなるでせう

▲農事簿記講演會

今四日午前十時から飯野村北白土寺院で農事簿記講習會を開いた、縣農會荒川技師、郡農會柴田技手の講演がある。

平區長會 協議事項

平區長會は四日午前十時から開き左の諸件を協議した

一、國民精神總動員第二回强調週間の件
一、火防警備の件
一、學齡兒童の件
一、臨時財政補給金に依る税の輕減に關する趣旨徹底
一、納税思想涵養の件
一、寄留者の應召兵ある場合報告の件
一、應召者及現役兵中歸郷者の件
一、諸調査報告期日勵行の件
一、市街地建築物法適用の件
一、市街地建築物屆出の件

▲木炭指導員會

濱三郡木炭同業組合指導員會議は來る九日午前十時から平團體事務所に開く。

三阪澤渡 村長改選

三阪、澤渡組合村長佐藤倉造氏は來る十五日任期滿了となるので十日頃村會に附議するが、再選になるらしい。

▲平市の織物

平市去月分の絹織物類産額は縮緬四六反、三五三圓、銘仙及節織一八反、六三圓、合計四一六圓

昭和人絹の 水銀泥棒

石城郡錦村昭和人絹會社工場内から鐵管入り水銀七本價格三千五百圓が何者かに竊取されてゐるのを先月下旬にいたつて發見、植田署に屆け出た、同署では縣刑事課指揮の下に捜査の結果元同工場土工仙臺市北山住所不定前科三犯高橋運藏(四二)石城郡錦村字舘土工前科一犯長島五郎(三三)宮城郡柴田郡富岡村字清水住所不定土工杉山正男(二六)の三名を有力な容疑者として追跡去月卅一日植田署草野刑事外一名が栃木縣鹽谷郡簗根村の親類に潜伏中高橋を檢擧、卅一日植田町内の宿屋に潜伏中の長島、杉山の兩名を檢擧、さらに關係者として福島市早稻田一八藥種商持地清吉(五六)ほか數名を同署に召喚取調べ中である。

右罪狀は三名はいづれも元昭和人絹の土工で工場内に通じてゐるのを奇貨に竊盜團を組織高橋と長島の兩名は昭和十二年十月から本年一月下旬にかけ前後四回に亘つて工場内から鐵管入り水銀十五本、價格七千五百圓を竊取これを持地に一千七百圓で賣却、長島、杉山の兩名は共謀の上本年一月初旬同工場内から同樣鐵管入り水銀七本、價格三千五百圓を竊取これを植田町古物商半島人田中金治に二百圓で賣却遊興に消費してゐたものである

鮫川堰 三月に復活

石城郡鮫川江筋の復活工事は總工費三十六萬九百六十五圓を投じ十一年度から十二年度に引續く廿七万七千圓の工事を以て來る三月末日までに完成の豫定であるが、同復活工事は上遠野村大字瀧字椿坊の本流から取水し下流小名濱町に至る延長六里、この間の難工に取入口直ちに八十余間のトンネルをセメントで捲いたものに續いて本流横斷のサイホン及び上遠野と渡邊の村界銅屋トンネルの延長六百三十五間の外掛樋十餘個所並に渡邊村上釜戸地内釜戸川のサイホン、泉村瀧尻に於ける芳川橋の掛樋など悉く見事な竣功を告げて目下水路(開渠)各部の復舊と前記銅屋トンネル出口から分流する植田町高倉外その下流に及ぶ支線の工事中であるが、本年五月の灌漑期には確實に通水を見込まれる蘇生水田小名濱町外一町四ヶ村で七百町歩に達し、平時流量百五十個の本流鮫川から八十五個を取る豐かな流れは大低の旱魃に水の不足を見る樣なことは絶對にあるまいと。

牛豚肉
平町田町
三二屋
電話三二三番

精神異狀で 縊死を遂ぐ

好間村北好間字推木平元坑夫淺沼態太郎(五八)は三日午前十一時半頃自宅で縊死を遂げた、原因は數年前からの中風を精神異狀を苦にしての結果らしく今までも數回自殺を計つた事がある

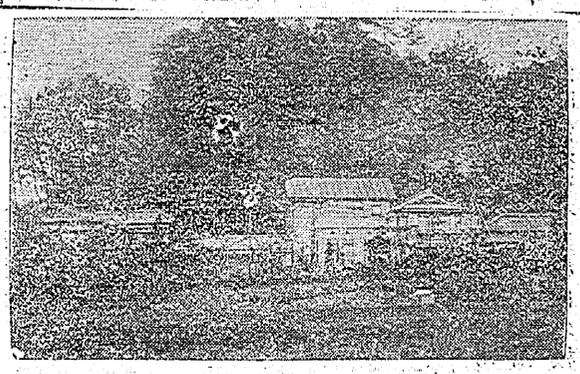
ベークライト職工見習募集

一、募集人員　三十名
一、年齢　十四歳以上二十歳迄の男子
一、待遇
十四才、十六才日給　七十五錢
十七才、十八才　八十錢
十九才、二十才　一圓
技術修得ト共ニ漸次昇給ス
一、寄宿舎ノ設備アリ、賄料ハ實費
一、申込所　平市職業紹介所
詳細は平市職業紹介所に紹介され度し
東京市大森區大森町
入新井町七丁目二六二
ミクニ工業所
電話六九〇九番

醬油と味噌
福島縣平市
鹽屋
電話　營業部專用一〇番　一般用二七番
醫東京一九七五五番
明治生命　磐城代理店　山崎與三郎

一、煉炭
一、豆炭
各種　特價販賣
薪炭大暴騰ノ折カラ御家庭ノ經濟燃料トシテ御勵メ致シマス
平驛前
阿部石炭商店
電話三十七番

干やなぎ
いか切込の御注文は
ぜひ仙魚店へ!!!
御祝儀
御進物用　鰹節
特に体裁優美格安に勉强仕ります
鰹鹽辛もあります
丸仙魚店
平市土橋（電話六六二番）



『季節珍味
小鳥料理』
常磐線湯本驛
鐵道指定旅館
割烹
小瀧鑛泉
電話小名濱一〇三

外科一般　レントゲン科
内臓外科　泌尿器科
北川外科
◎書夜診療◎
（血液檢査毎日）
イツデモ
入院出來マス
醫學博士　北川芳夫
技師　三浦常保
平市新川町二七
電話四六四番

互融會事業報告　十二月中

融通口數　二六七四口
融通金額　一五一、九〇九・六七
滿期拂戻口數　一〇六口
滿期拂戻金額　五、六七〇・〇〇

概況　昭和十二年十二月末現在
會員數　八、七五六口
世帶數　五、六八一戸
積立金　一二六、一七三・〇七
融通金額　一五一、九〇九・六七
融通金回収高　六八、六三五・九〇
滿期拂戻口數　六八四口
滿期拂戻金額　二九、二〇五・〇〇

一、社會公共事業及慈善事業ヘノ奉仕
一、精神修養講話會
一、會員ノ吉凶慶弔
一、會員相互見舞
一、人事相談及婚姻ノ媒介
一、診療救血ノ補償
一、稅金ノ代納事務取扱
一、會報發刊
一、勤儉日積立金ノ奬勵
一、小資本金ノ相互融通

太平火災海上保險株式會社平中央代理店
石城中小商工互融會
事務所　福島縣平市搔槌小路一番地
電話五五五番

小名濱方部　小名濱町古港
菊田方部　植田町臺町
湯本方部　湯本町天王崎
相双支部　原町東一番町

和洋銅鐵金物問屋
久釜屋商店
諸橋久太郎
電話九九番

產科
婦人科
外科
藥局
院長　木村寅次郎
醫學博士　内木宗八
藥劑師　大岩俊雄
平市新川町十九
入院隨意
病室完備
木村病院
電話一六四番

三百年の歴史を有する
家傳靈藥
相馬ハンサキ
消食散
一名かげの藥
代理店　平市大町　丸龜商店
電話一三三番

特許新洗劑
モノゲン
漬けて十分間
揉まずに落ちる
モノゲンは石鹼とは原料から異つて居て、脂肪屬高級アルコールと云ふ新原料から製造されたもので、水に溶いても中性で手類を洗つて生地を縮める事なく、且又人絹やステープル製品も短時間に揉まずに、白物は黄ばめず、美しく洗へ、其上濯ぎ出しが樂で、どんな生地でも理想的に洗へる新洗濯劑です
定價　一・二〇　五〇　三五
ゲンブマルセール石鹼本舖　第一工業製藥株式會社
ゲンブ　石鹼
絹、麻、綿織物等のお洗濯に、何遍洗つても絶對に生地を傷めず、完全に汚れ垢を落し、美しく綿麗に仕上げ、且又その上保存を良くするのがゲンブマルセール石鹼の最も特徴です。又食器洗ひに用ひても重寶です。
藥局デパート小間物店等にあり
特約店　中野洋品店　平二・電五三